



呉 YWCA は日本国憲法の前文の恒久平和実現のため、

9条の非武装、不戦の誓いを広げていきたいと思ひます。

2

Feb. 2023

呉 YWCA

活動テーマ

子どもたちが伸びのびと、若い人が个性的に、高齢者が健やかに、私、あなたがいきいきと、現在、未来を生きるために活動します。

呉の街を再び戦争拠点にさせない

ピースリンク広島・呉・岩国 世話人 新田秀樹

日本国憲法第九条「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」

これは政治のあり方を決める最高法規ですが、この憲法が危機を迎えています。昨年 12 月 16 日に閣議決定した「安保 3 文書」は専守防衛のための「防衛力」から「戦力」へと様変わりした内容だといえます。防衛のためのミサイル配備は敵基地攻撃能力を備えた射程 1000 キロ以上を目指し、そのための防衛費は NATO(北大西洋条約機構)水準の GNP2%とし約 2 倍にしようとしており、来年度予算は 26%増を閣議決定しています。このままではいずれ世界第 3 位の軍事大国になるということです。

ロシアが軍事侵略したウクライナ戦争を機に、侵略の危機を煽って急速に NATO 諸国との急接近と軍備増強が進んでいます。NATO とは軍事同盟であり、日本国憲法とは相いれません。昨年はこの NATO 首脳会議に岸田首相は参加し、今年 5 月には G7 広島サミットが行われます。歓迎ムードがある一方、参加国は日本を除いて NATO 加盟国であり、今後の対ロシア、中国への安保協議が主要な議題の一つになります。今年 1 月の岸田首相の G7 各国との首脳会議は閣議決定した日本の軍事強化を手土産にした訪問であり、当初掲げていた

「核軍縮」は影を潜めています。

ここ呉市は海上自衛隊の街でもあり、この軍事強化に直結しています。2015 年に「戦争法」とも呼ばれる安保関連法が成立し、米国をはじめとした集団的自衛権行使も可能とし、より実戦的な多国間演習が続いています。とりわけ昨年 11 月の「キーン・ソード23」という訓練は、国境の島である与那国島など南西諸島の島々で、大規模な合同演習が行われ、緊張を高めています。

沖縄県知事をはじめ現地では「台湾有事で再び戦場にされる」と危惧の声が上がっています。さらに、敵基地攻撃能力を今後持つことになる護衛艦や潜水艦、現在 JMU 呉事業所で空母化への改修中の「かが」など最新の「戦力」を持つ呉地方総監部も逆に攻撃の対象にされることも考えられます。また、集団的自衛権行使は台湾有事などで自衛隊の参戦も想定しており、呉市民でもある自衛隊員の生命まで脅かされることとなります。

現在、政府が行っているのは緊張を高めることへの助長でしかありません。軍備強化は私たちの生活にも直結していきます。物価上昇が続く中でも増税の議論も始まり、社会保障の低下や将来へ国の借金のツケを回すなど、このような政治は許されません。政府がやるべきことは国際紛争を外交で解決していくことが責務です。平和憲法を持つ国として、力(戦力)で解決をしない道を模索するのがあるべき姿だと思います。

かつてアジア侵略の拠点になった呉の街、再び戦争の拠点にしてはなりません。

呉 YWCA 女声コーラス シャロームと共に

シャローム指揮者 清水路子

シャロームとの出会いはおよそ 30 年前。故大村達也先生からヴォイストレーニングを頼まれたのが始まりでした。その後、大村先生の体調が悪いときにはヴォイストレーニングだけでなく指揮もするようになり、大村先生が亡くなられた後、指揮の依頼を受けた事に驚きはありませんでした。



その頃のシャローム代表の設楽さんとは、大学を卒業してすぐに友達に引きずられて入った呉合唱団と一緒に歌った仲でもありました。設楽さんは戦後すぐ、食べ物も十分でなく衣装もないような時から、故木下先生が結成された呉合唱団で歌われていた超ベテランです。曲もよくご存じで、この曲を歌いたいと楽譜を持ってこられる事も多々ありました。メサイアを舞台に上げたいと言われたときには流石に仰天しましたが、設楽さんの突破力と私の若気の至りで無謀にも舞台に載せてしまいました。今思うと冷や汗ものです。

シャロームを引き受けた頃は結構難しい曲を提供していたような気がします。これも若気？の至り。皆さんにはご迷惑をおかけしました。最近の選曲のポイントは、なんと言っても少人数で歌える事、そして皆が歌いたいと思ってくれること、この2点です。歌っている皆の顔が楽しそうだとほっとします。それでも歌いたい曲が会わないと感じたときは、ボツです。仕方ありません。会わない曲を無理して歌うと、どんな上手な合唱団でも良い音楽にはなりませんから。何曲ボツにしたことやら。それなのに「いつも良い選曲をされますね。」等と言われた日には、恥ずかしくて穴があいたら入りたくなります。

昨年11月20日に呉文化ホールで開催された県民文化祭ミュージックフェスタで、演奏の評判が良かったのは、選曲が良かったというより、たまたまシャロームによく合ったという方が適切です。ただ、たまたまだろうと自分たちに合った曲が歌えたのは本当に幸せな事でした。今後どれだけの曲をボツにして皆の恨みをかいながら合う曲を見つけることになるやら…

シャロームという合唱団は優しい合唱団です。人を傷つける等もってのほか。障害を持っている方でも、優しく手を貸して支えています。その優しさがシャロームの音楽を作っていると思います。その優しさの上にもう一步先の深みのある音楽作りをしたい、私の多少厳しめの練習に皆よく我慢して付き合ってくれます。只感謝です。

何年か前に参加した合唱フォーラムで他県の合唱団の人に言った事があります。「シャロームの皆さんは私の宝物です」と。



国葬って？

憲法カフェメンバー 住井かつみ

2022年11月27日の「憲法カフェ」にて、ピースリンク広島・呉・岩国の会員であり高校教員の平賀伸一さんを招き、内閣について、安倍元総理の国葬はどうして行われたのか、また呉の自衛隊の現状、憲法九条についてのお話を聞く会がありました。

内閣の話では、まず「三権分立」について説明がありました。学校では一般的に、“国民の権利・利益を守るため、権力が一か所に集中しないように、「内閣(行政)」「国会(立法)」「裁判所(司法)」という3つの役割に分ける仕組みがつくられた”と学びます。しかし憲法の規定では、最高裁判所の長は「総理大臣が指名する」ことになっており、内閣の方針に異を唱えそうにない人が選ばれることになるため、実際のところは「三権分立」ではない、というものでした。また、最高裁判所の裁判官を審査する国民審査では、衆議院議員選挙時に行われる国民審査に出向き、投票用紙にある裁判官の名前欄に×をつけないといけない(白紙は○と一緒に)、しかし罷免に値する裁判官か否かの判断基準がわかりやすく示されることはないため、これまで国民審査で罷免された裁判官は一人もおらず、実際には機能していない、というものでした。安倍元総理は、「憲法の番人」とされる内閣法制局長官をはじめ、最高裁判所裁判官、高等検察庁検事長など、自分の方針に従う人を強引に任命したため、自分がしたいことをしたいようにできたのだそうです。集団的自衛権の意味を捻じ曲げることができたのも、これまでの内閣の慣例を無視し、内閣法制局長官や、閣議決定で「憲法九条に違反していない」と言ってくれるメンバーを自分で選んでいるからこそできたことなのです。

安倍氏の国葬についても、岸田内閣の閣議決定で決められましたが、その根拠は内閣府設置法の「内閣は国の儀式の事務を行う」との規定だそうです。「国の儀式」＝「国葬」ではないのに、内閣が勝手に意味を捻じ曲げたのだということがわかります。

呉の自衛隊の現状については、呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)が開館した2005年4月以来ずっと、呉市は旧海軍、自衛隊を観光資源とし、イベント等「市民受け」するようなことをしているため、自衛隊が本当は何をやっているのかを見えなくさせている、というものでした。

「海自カレー」に、「旧海軍軍艦のイルミネーション」、旧海軍軍艦を少女に模した「艦これ(艦隊コレクション)」等々・・・軍隊を「ファンタジー」化しているので、戦争が近づいているのに気づけない、印象操作をされていることに気づかず、「あなたはどうかの？」という問いがない、そんな環境がない。「倫理的に正しいか、正しくないか」ではなく、多くの支持を受けている方が「勝ち」になってしまっています。

平賀さんは、「戦争をしたい勢力は、日本がどうやったら再び戦争ができるのかを歴史から学び、実行していています。私たちも歴史から学ばなければいけない。騙されず、事実をきちんと学びましょう。そして、たとえ勝敗が見えているような選挙でも、投票には必ず行って自分の一票を行使してきちんと意思表示をする。政治家・候補者に“私たち国民はしっかり見ているぞ”と示すことが大切です。」とおっしゃいました。

政府は「本当のこと」を巧みに隠し、事実や本質を見えづらくしているため、一人ではなかなか気づく事はできません。でも、みんなが力を合わせたら、みんなで問うていければ、真実が見えてくるのではないのでしょうか。「これってどうなんだろう？」憲法カフェでも、いろんなことを疑問に思い、みんなで話していきたいです。

クリスマス募金にご協力ありがとうございました

1月10日までに皆さまからお寄せいただいた募金の総額が 162,600円となりました。

呉YWCAは、人権・平和(特に女性・子どもの人権)を柱に活動を続けています。昨年2月から始まったロシアのウクライナ侵攻戦争によって被災している現地の人々への支援や、世界中で起こる戦争や災害への支援を日本YWCAを通してお届けしました。

・ウクライナ支援募金

ウクライナYWCAを通じた現地の女性たちへの支援

ウクライナYMCAが行う爆撃地から国内避難を行う人々への支援

ウクライナ近隣諸国のYMCAが行う、国外へ避難するウクライナの人々への緊急支援

・日本YWCA 災害時支援募金

世界中で起こる戦争・紛争・自然災害への緊急支援及び中長期支援

《募金をお寄せいただいた方々(あいうえお順)1月10日現在》

阿井泰子 新井静子 池田尚子 石崎淳子 伊藤俊子 伊藤智美 上岡佳子 畝川真由美 大久保邦子
大濱香織 沖本郁子 小瀬利治 角田アサ子 梶本直子 片山愛子 加登田美江 金谷千史 神田千夏・
龍之介 吉川敦子 木村浩子 楠本優美子 倉田恵子 栗原麻紀 小林いづみ 小宇羅陵子 笹方玲子
清水路子 城久美子 ジーン・イングリス 神保美都子 住井かつみ 曾我絵利子 土屋宏子 筒本隆博
長尾真理子 長嶋香穂里 中峠由里 永富彌古 西本 野田那保美 濱田牧子 松田富美子 松村治子
馬庭恭子 向井ひさ子 向井茉莉子 村井純子 門田幸恵 家頭昌子 山田順子 弓場美香 吉田有
匿名2名

ご協力ありがとうございます。

呉YWCAの活動の為に大切にに使わせて
頂きます。(敬称略12月末まで)

賛助費

大島純子 浜根和子 阿井泰子 神田千夏

呉YWCA活動支援募金

住吉百合子 筒本隆博 山田美恵子 池田尚子
沖本郁子 家頭昌子 伊勢田三佳 新井静子
向井茉莉子 向井ひさ子 中峠由里 笹方玲子
匿名

会館百年プロジェクト募金

長尾真理子 濱中康子 山田美恵子 池田尚子
角田アサ子 向井茉莉子 中峠由里 笹方玲子
匿名

地域・子ども食堂お知らせ

毎月第2土曜日のお昼と第4土曜日の夜
に開催している呉YWCA地域・子ども食堂
は、小さなお子さんからご年配の方まで幅
広くご利用いただける食堂です。

一緒にご飯を作って、暖かいご飯を一緒
に食べて、おしゃべりして、時には悩み相談
もして、笑顔になって楽しく過ごせる場所
です。ぜひ皆さまお誘いあわ
せのうえお越しく下さい♪

地域・子ども食堂は
食堂応援ボランティアを
募集しています。



【委員会予定】

理事会 on-line 2月24日 19:30 ZOOM

広報委員会 2月3日 13:30

【理事会報告】

12月21日(水)

1、確認・報告事項 2、議事 1) クリスマスのつどい報告 2) 2022年度活動報告及び2023年度活動
予定案について 3) 会長入院に伴う緊急時の代行について 4) その他・会館関係・他団体

2023年

日

月

火




水

木

芸大美大コース 火～金 18:00-21:00

金

土

			<p>1 音訳グループ 9:30</p>	<p>2 コーラス・シャローム13:00</p>	<p>3 広報委員会 13:30</p>	<p>4 子ども絵画教室 13:30</p>
<p>5</p>	<p>6</p>	<p>7 ピラティス 13:00 書道教室 15:30</p>	<p>8</p>	<p>9 コーラス・シャローム13:00</p>	<p>10 ヨガ講座 10:45</p>	<p>11 <地域子ども食堂> 11:00 わいわい食堂</p>
<p>12</p>	<p>13</p>	<p>14 おもてなし英会話 13:30 書道教室 15:30</p>	<p>15 音訳グループ 9:30</p>	<p>16 コーラス・シャローム13:00</p>	<p>17 ヨガ講座 10:45</p>	<p>18 らぼーる10周年記念会 11:00 子ども絵画教室 13:30</p>
<p>19</p> 	<p>20</p>	<p>21 ピラティス 13:00 書道教室 15:30</p>	<p>22</p>	<p>23</p>	<p>24 ヨガ講座 10:45 クラフト教室 13:30 理事会 19:30</p>	<p>25 絵本がいっぱい 10:00 子ども絵画教室 13:30 <地域子ども食堂> 18:00 フリースペース夕食会</p>
<p>26 憲法カフェ 13:00</p>	<p>27</p>	<p>28 おもてなし英会話 10:30 書道教室 15:30</p>				